

令和7年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅰ	単位数	2	学年	2年	類型	カリッジコース
教科書	My Way Logic and ExpressionⅠ(三省堂)			副教材	My Way Logic and ExpressionⅠ WORKBOOK(三省堂)				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				知	思	主	
1学期	4	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves	初対面のあいさつ		◎	○	学習のねらい 1学期はbe動詞・一般動詞の現在形と過去形、未来時制について学びます。 2学期は現在完了形、助動詞、不定詞、動名詞、分詞について学びます。 3学期は比較表現、関係詞、仮定法について学習します。 また、トピック別の単語やフレーズ、つなぎ語の使い方などを身に付けます。 文法事項や表現を定着させるため、できるだけ多くの問題を解くとともに、身に付けた表現を使って言語活動を行います。
			現在形 (be動詞)	◎		○	
			自己紹介のスピーチ作成		○	◎	
	5		自己紹介のスピーチ		○	◎	
		Lesson 2 School Life	好きな教科についての会話		◎	○	
			中間考査	◎	◎		
			部活動紹介文の作成		◎	○	
	6		進行形	◎	○		
		Lesson 3 The Art	週末の予定についての会話		◎	○	
			未来表現	◎	○		
	7		好きな絵についての発表	◎	◎		
			基本時制のまとめ	◎	○		学習の目標 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養います。
		Special Activity	図形を表す単語	◎	○		
2学期	8		説明を聞き取る		◎	○	評価の観点 知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用し論理的に表現できる技能を身に付けている。
	9	Lesson 4 Food and Culture	料理を注文する表現	◎	○		
			食文化を紹介するレポート		◎	○	
			料理の作り方の説明		○	◎	
	10	Lesson 5 Welcome to Our Town	道案内の表現	◎	○		
			中間考査	◎	◎		
			助動詞	◎	○		
	11		受動態	◎	○		思考・判断・表現 外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して場面に合ったコミュニケーションをとることができる。
			不定詞 1	◎	○		
			行きたい場所の発表		○	◎	
			不定詞 2	◎	○		
	12	Lesson 7 Sports	スポーツについての会話		○	◎	主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。
			競技ルールを説明する	◎	◎		
			動名詞	◎	○		
			分詞	◎	○		
3学期	1	Lesson 8 Everyday Technology	紙と電子の書籍についての会話		◎	○	備考 学年末考査
			比較表現 1	◎	○		
			科学技術を紹介する文章	○	◎		
			比較表現 2	◎	○		
	2	Lesson 9 Take Care	病院での会話	◎	○		
			関係代名詞	◎	○		
			健康についての会話		◎	○	
		Lesson 10 SDGs—Take Action!	SDGsについての会話	◎	◎		
	3		仮定法	◎	○		
			関係副詞	◎	○		
			SDGsについての発表		○	◎	

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【英語上達のポイント】

- 既習の内容を土台にして、新しい内容を学習していきます。
- 学習した重要事項を使って、積極的に表現活動に取り組んでください。
- 対話文は実際に声に出して読み、内容を理解してください。
- 英語の構文を理解し、英語での表現に活かしてください。
- 表現に必要な語彙を積極的に学習していきましょう。
- 基本的な文法事項は確実に覚えてください。英語を表現するのに必要になります。
- 各種検定に挑戦しましょう。普段の授業で力をつけ、自分の英語力を試してみましょう。

【授業】

- 週に2回の授業があります。
- 各レッスンの授業の進め方は、だいたい次のようになります。
 - ① Model Conversationの対話文を読みます。
 - ② 重要構文、文法事項を確認します。
 - ③ 自分で英作文したり、練習問題やワークを解きます。
- 対話文の内容把握と練習問題を解いて授業に臨んでください。
- 板書に加えて、口頭で示された重要ポイントもノートに書いてください。
- 習った重要事項を使って、積極的に表現活動に取り組んでください。

【家庭学習】

- その日のうちに授業の復習をし、授業内容の定着を図ってください。
- 次回の学習するLessonの対話文の内容把握と練習問題を解いてください。
- 分からないところがあっても、できるところまで自分の力で英作文しましょう。
- 辞書、単語帳、文法書を使用し、英語の表現力向上につなげてください。

【定期考査】

- 授業で学習した内容が基本になります。
- 本文の内容把握、重要構文、文法事項、新出語彙などを再確認しましょう。
- 目標となる得点を設定して、考査範囲全体をまんべんなく学習しましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点から評価します。出席状況、授業態度、ノートの整理状況、課題の提出状況、課題テスト、小テスト、定期考査をもとに総合的に評価します。	
評価の基準	1 学 期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(主に③の観点から評価します。)
	2 学 期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(主に③の観点から評価します。)
	3 学 期	学年末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(主に③の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均